

伊集院保健所感染症情報

2024年第3週（令和6年1月15日～令和6年1月21日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
 TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
 鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内警報発令：インフルエンザ，咽頭結膜熱

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第52週	第1週	第2週	第3週	先週からの増減	第2週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	18.20	13.20	19.60	17.60	↘	17.11	↗
COVID-19	-	-	-	4.00	4.40	10.60	20.40	↗	7.10	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	5.33	1.67	4.00	3.00	↘	3.45	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	4.00	2.67	4.67	3.33	↘	3.92	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	2.67	2.00	3.33	7.33	↗	9.41	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↘
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.33	0.33	→	0.51	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.14	→
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.16	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.00	↘
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			該当なし							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

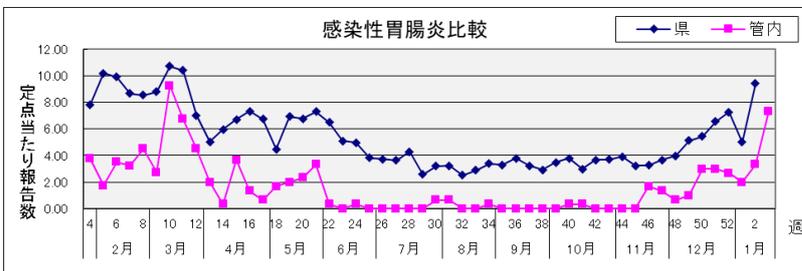
TOPIC 感染性胃腸炎が増加しています！

伊集院保健所における感染性胃腸炎の報告数が、2週連続で増加しています。また、県全体でも増加傾向です。感染性胃腸炎は、ウイルス等の病原体が原因の胃腸炎の総称で、冬期はノロウイルスによる胃腸炎が多くなります。ノロウイルスは、手指や食品などを介して経口で感染し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。ワクチンはなく治療は対処療法に限られますので、次の予防対策を徹底しましょう。

- ①食事の前やトイレの後などに、泡立てた石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。
- ②下痢やおう吐等の症状のある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。

③患者のふん便や吐ぶつには多量のウイルスが含まれています。ふん便や吐ぶつを処理するときには、使い捨てのガウン（エプロン）、マスク、手袋を着用し、適切に処理しましょう。

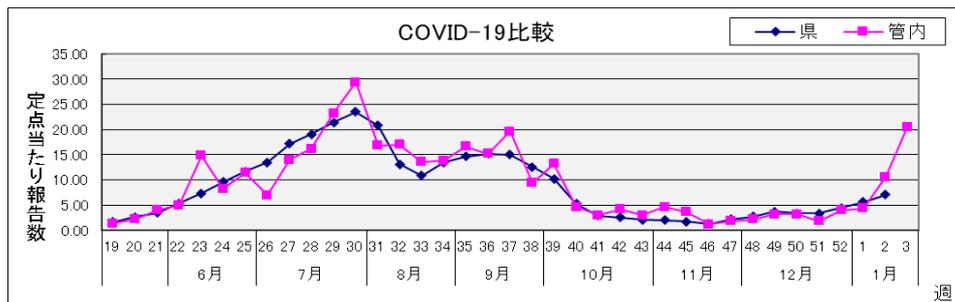
④加熱が必要な食品は、中心部までしっかり加熱してから食べましょう。



● 注意すべき感染症

● COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

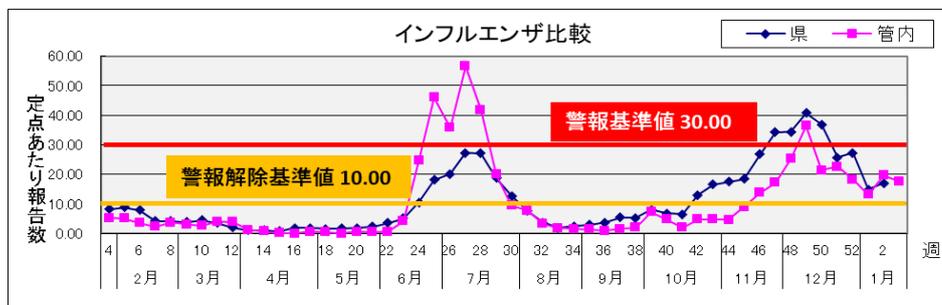
前週の伊集院保健所管内における COVID-19 の報告数は、前週の 53 人（定点当たり 10.60）から 49 人多い 102 人（20.40）でした。年齢別では、80 歳以上（20 人）、40～49 歳（13 人）、50～59 歳（11 人）の順で多い報告でした。



★**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から 5 日を経過し、かつ症状が軽快して 24 時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から 10 日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

● インフルエンザ（県内・管内警報発令中！）

今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の 98 人（定点当たり 19.60）より 10 人少ない 88 人（定点当たり 17.60）でした。年齢別では、10～14 歳（18 人）、7 歳・15～19 歳（各 10 人）、5 歳・8 歳（各 9 人）の順に多い報告でした。



小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴うなど重症になることがあり、それぞれ注意が必要です。飛沫感染対策、接触感染対策に努めましょう。

★**罹患後の登校基準**：発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日を経過してから（学校保健安全法）。

○学校における感染症による出席停止の状況 1/15～1/21

（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

インフルエンザによる出席停止が、前週に比べ約 1.6 倍に増加しています。学級閉鎖の報告はありませんでした。

自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	インフルエンザB型	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	新型コロナウイルス
日置市	34	12	2	2	1	10
いちき串木野市	3	9	0	0	0	10
三島村	0	0	0	0	0	1
十島村	0	0	0	0	0	0
計	37	21	2	2	1	21

○社会福祉施設等における感染症集団発生時の保健所への報告について

管内の社会福祉施設において、インフルエンザや COVID-19 の集団発生が報告されています。高齢者や乳幼児、障害者など重症化リスクのある方が生活する社会福祉施設等では、集団発生の防止を図ることと、感染症発生時には迅速で適切な対応を行うことが求められています。もし、集団発生の場合は、厚生労働省通知『社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について』に基づく保健所への報告をお願いします。

高齢者施設等における感染症予防のポイント

○予め、施設内でインフルエンザやノロウイルス、COVID-19 の患者が確認された場合を想定し、施設内の連絡体制や対策を決めて、職員に周知しておきましょう。

★鹿児島県 HP「高齢者施設等における新型コロナ感染者発生対応マニュアル」を参考に→

○手指消毒を行うタイミング、手指消毒剤の使用量、手順を再度確認し、実践しましょう。

○換気をしましょう。職員はマスクを着用しましょう。

○職員の健康観察を行い、体調不良者は施設へ相談し出勤を控えましょう。

○利用者の健康観察を行い、有症者を早期に探知し、必要時すぐに受診できるようにしましょう。

○施設内で感染症が発生した際は、すぐに施設内で情報を共有し、感染対策を行いましょう。

